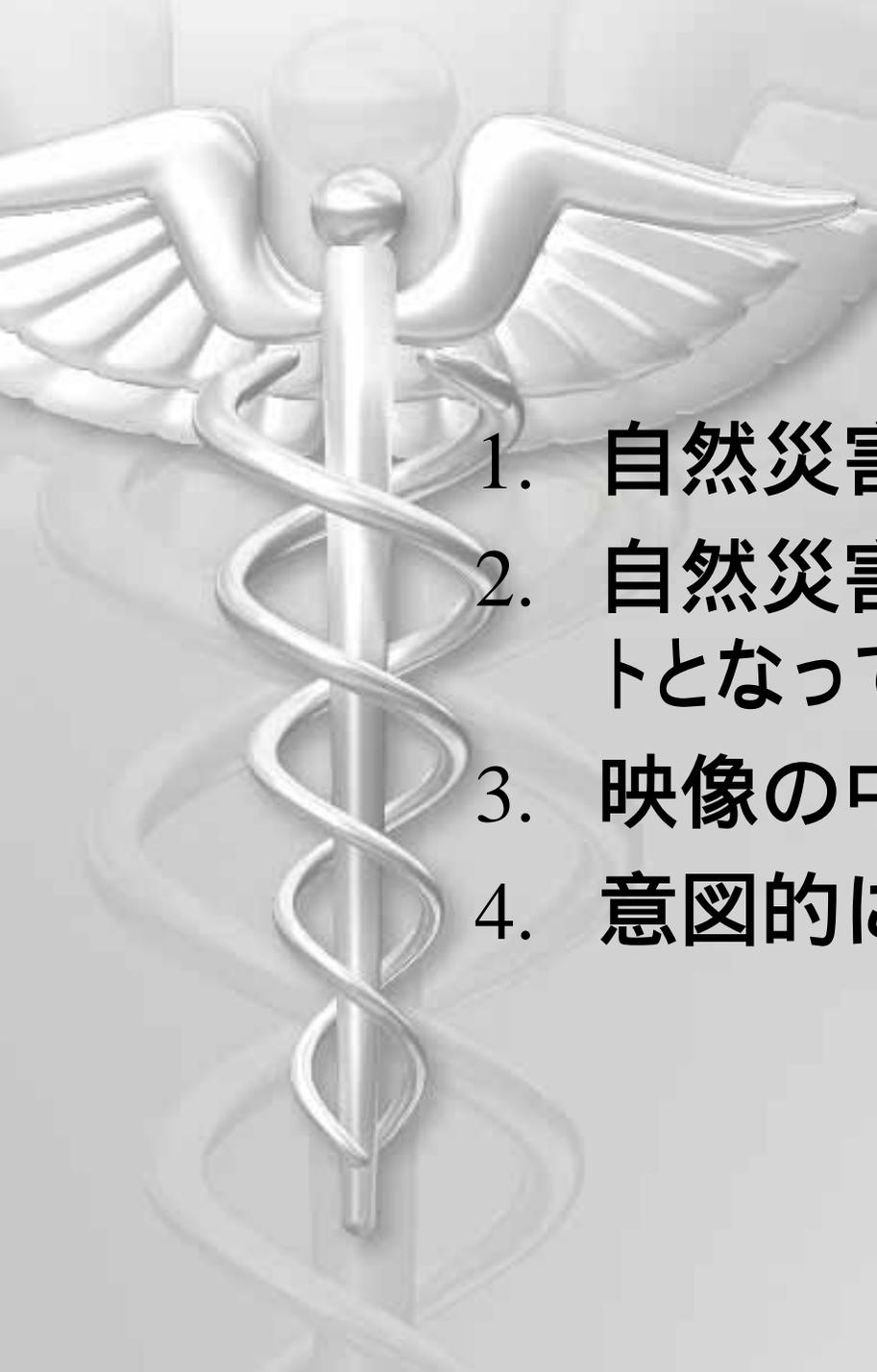




ドラマ・映画・小説 にみる地震防災

山岡耕春

東京大学地震研究所



ドラマ・映画・小説

1. 自然災害が舞台となっているもの
2. 自然災害が構成上の重要なイベントとなっているもの
3. 映像の中の何気ない防災対策
4. 意図的に無視されているもの

災害が舞台になっている もの

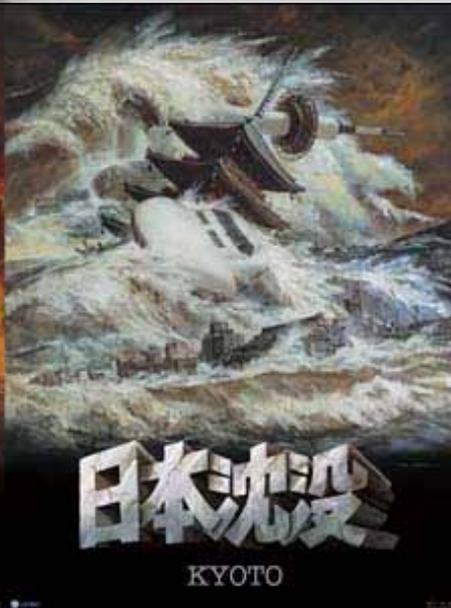


- ◆ 日本沈没 (小松左京: 小説・映画)
- ◆ 死都日本、災害列島 (石黒耀: 小説)
- ◆ Dante's Peak (映画)
- ◆ Deep Impact (映画)
- ◆ 細雪 (谷崎潤一郎: 小説)
- ◆ ほか

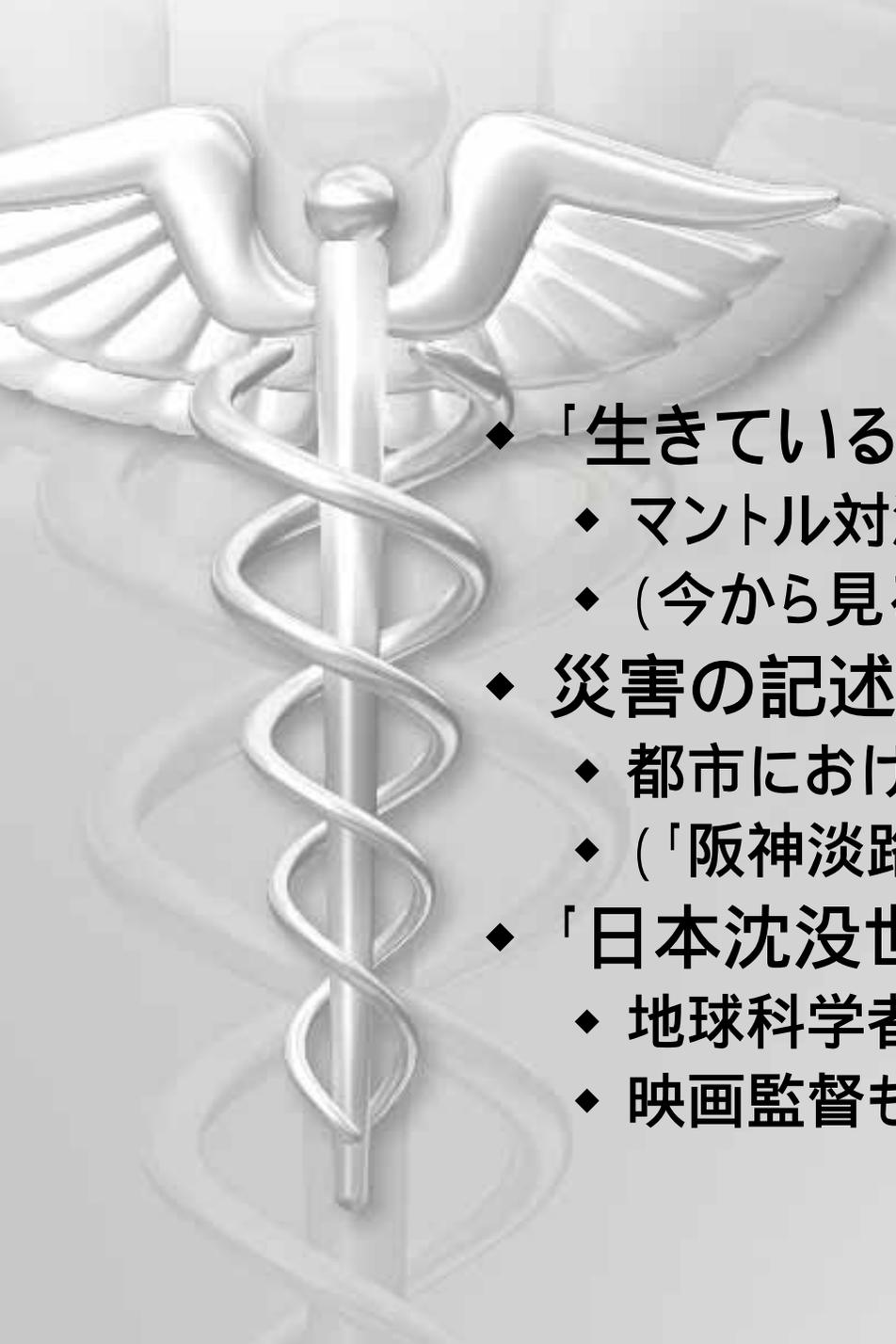


「日本沈没」

- ◆ 1973年発表 200万部の大ベストセラー
- ◆ 映画化 900万人動員
- ◆ TV番組 60分、半年間
- ◆ 2006年夏 映画リメイク版
 - ◆ 最新の科学的知見を取り入れる
(大きなウソはつくが、小さなウソはつかない)

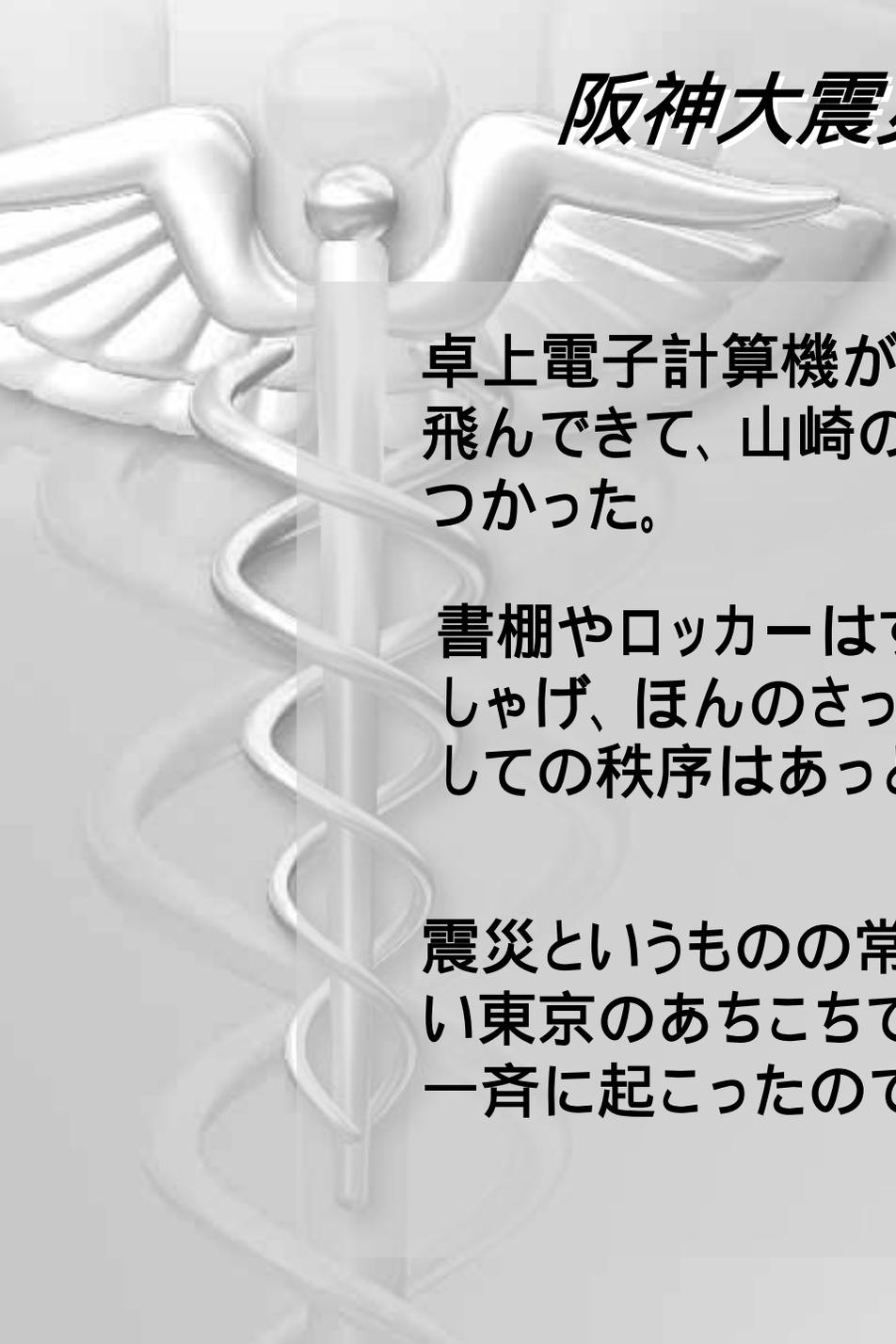


(東宝)



「日本沈没」

- ◆ 「**生きている地球**」を認識させる
 - ◆ マントル対流・プレートテクトニクス
 - ◆ (今から見ると古いが)
- ◆ **災害の記述**
 - ◆ 都市における地震災害
 - ◆ (「阪神淡路大震災を見てきたような記述」)
- ◆ 「**日本沈没世代**」をつくる
 - ◆ 地球科学者を目指す若者
 - ◆ 映画監督も



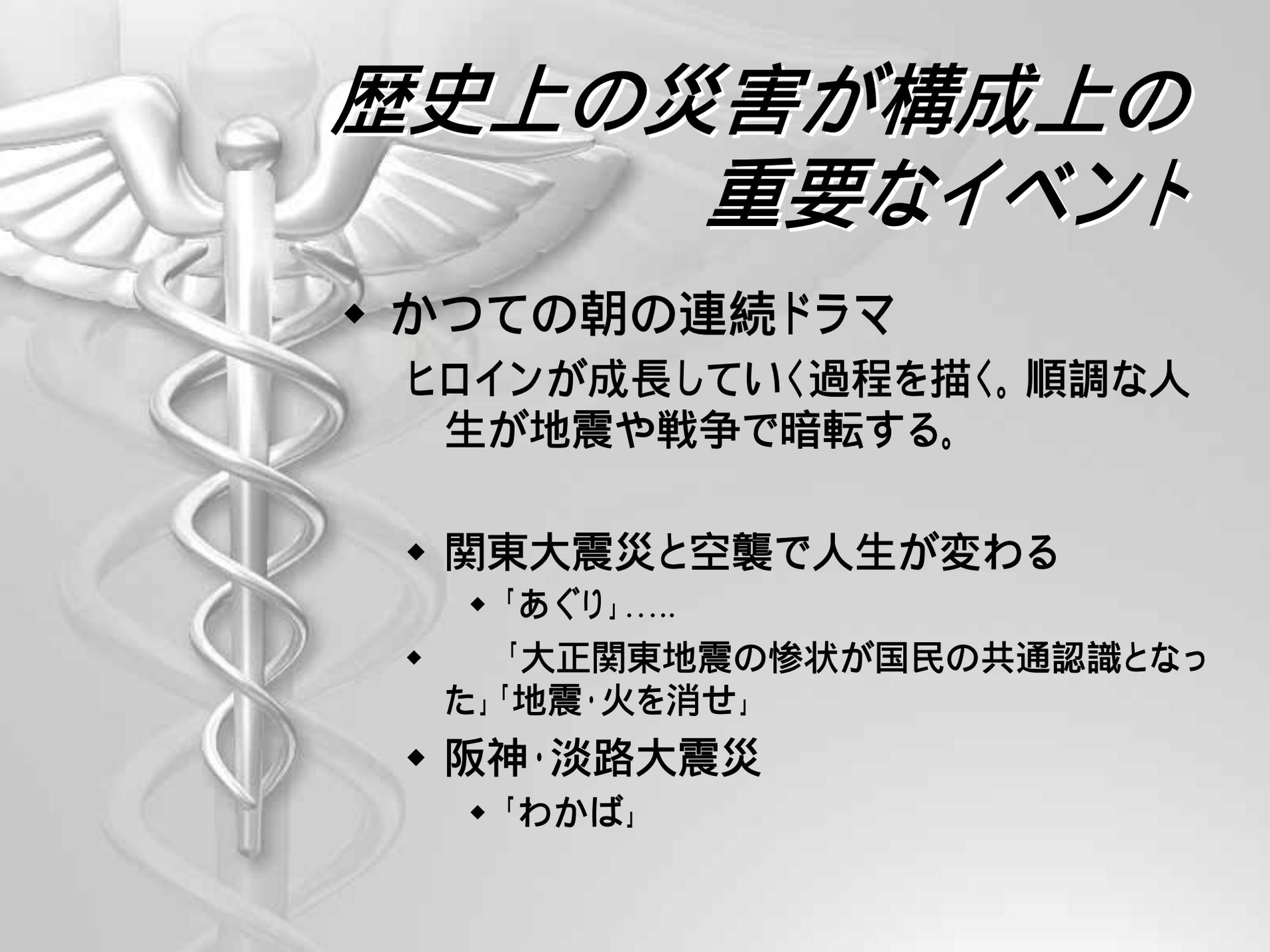
阪神大震災を見てきたような記述

(小説「日本沈没」より)

卓上電子計算機が、コードを後ろに引きながら、飛んできて、山崎のすぐ後ろの壁にガシャッとぶつかった。

書棚やロッカーはすべてひっくりかえり、机はひしゃげ、ほんのさっきまでそこにあった「部屋」としての秩序はあっという間に消え失せ...

震災というものの常として、これらのことが、広い東京のあちこちできわめて短い時間の間に一斉に起こったのである。



歴史上の災害が構成上の重要なイベント

- ◆ かつての朝の連続ドラマ
ヒロインが成長していく過程を描く。順調な人生が地震や戦争で暗転する。
- ◆ 関東大震災と空襲で人生が変わる
 - ◆ 「あぐり」.....
 - ◆ 「大正関東地震の惨状が国民の共通認識となった」「地震・火を消せ」
- ◆ 阪神・淡路大震災
 - ◆ 「わかば」

映像の中の何気ない地震対策

- ◆ TVドラマの家具に地震対策がなされているか？
- ◆ 寝室の枕元に「スリッパ」が置いてあるか？
- ◆ 玄関に非常持ち出し袋が置いてあるか？

歴史上の地震が描かれない！

- ◆ 幕末のドラマが多い
 - ◆ しかし「安政の東海地震(1854)や江戸地震(1855年)」が描かれない
 - ◆ ペリーの浦賀来航は1853年
- ◆ 信長・秀吉・家康のドラマも多い
 - ◆ 天正の地震(1586) 濃尾平野に被害
 - ◆ 1587 伴天連追放令
 - ◆ 慶長伏見の地震(1596)
 - ◆ 1597-1598 慶長の役(朝鮮出兵)
- ◆ 動乱期には地震などは気にならない??
- ◆ 宝永地震、富士山宝永の噴火は?
 - ◆ 5代将軍綱吉の時代



災害を扱う小説・ドラマ・映画 の防災意識向上への効果

- ◆ 視聴者が圧倒的に多い
- ◆ 災害を自分の身近に感じる
 - ◆ 主人公への感情移入
 - ◆ 普段への影響をリアルに描写
- ◆ 日本では災害と無縁ではないという感情を培う